

## 総括

全31項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。その結果、目標達成に向けて克服すべき課題が残されたものもあるが、ユズの栽培技術の向上による青果出荷量、加工仕向量の増加や、地域特産品の加工施設の整備が進む等、成果も現れてきている。

商工業分野では、ふるさと納税返礼品の取り扱いの増加等によって、直販所等の売上高が増加している。観光分野では、(一社)高知県東部観光協議会の設立や、「森林鉄道からゆずロードへ」の日本遺産認定、むろと廃校水族館のオープンなど、東部地域観光の魅力向上が図られた。今後とも、市町村や関係団体、民間事業者等との連携協力により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進していく。

## これまでの取り組みの成果等

### ◎各分野の取り組みの成果と今後の方向性

#### ■農業分野

ユズについては、講習会等での栽培指導や改植事業の推進により、生産者の栽培技術や品質への意識が向上し、生産量の増加につながった。また、ヨーロッパへの青果輸出も腐敗果対策等により着実に実施している。今後もユズの生産拡大や品質向上等に取り組むとともに、積極的なプロモーション活動を展開していくことで、ユズの認知度向上、消費拡大を目指す。加工品販売では、ユズ関連の市場競争が激しくなる中、顧客ニーズに対応するため、新商品開発等の取り組みを進めており、今後インターネット等を活用した新規顧客の獲得を目指す。

#### ■林業分野

土佐備長炭について、研修生の受入などによる新規就労者の増加や製炭窯の新たな設置により、出荷量が増加している。今後とも、原木であるウバメガシの安定調達や研修修了者の自立支援に取り組み、土佐備長炭のさらなる生産拡大と後継者の育成を図る。

#### ■水産業分野

「芸東地域の水産物の付加価値向上と販路拡大」の取り組みでは、加工品の販売について、製造工程の改善や営業の強化等により、売上額が増加した。今後は、施設の老朽化対策とあわせて県版HACCPへの対応にも取り組んでいく。

#### ■商工業分野

道の駅などの地場産品直販所においては、地場産品を活用した加工品の開発や販売の強化に取り組むとともに、ふるさと納税の返礼品の取り扱いを進め、売上高が増加してきている。今後はさらなる売上増を目指して、店舗の狭隘対策や新商品の開発、販路拡大等に取り組む。

#### ■観光分野

H28年に高知県東部観光協議会が設立され、東部地域が一体となって広域観光に取り組む体制が整備された。さらに、H29年には森林鉄道やゆずロード等を活用した交流人口の拡大の取り組みが日本遺産に認定されるとともに、H30年にはむろと廃校水族館がオープンした。また、各施設においては、「志国高知 幕末維新博」や「自然&体験キャンペーン」を踏まえた施設の整備や体験プログラムの造成が進むなど、東部地域観光の魅力が向上している。今後とも、地域の観光拠点となる施設整備を進めるとともに、土佐の観光創生塾や各種アドバイザーを活用した体験プログラムの造成及び情報発信に積極的に取り組んでいく。

◎地域アクションプランによる雇用の創出（H28～R元） 17人

## 主な取り組み事例


農業 商工業 観光 その他

※○囲み数字は時点を表す  
例)平成29年度=㊟  
令和元年度=㊠

### No.1 ユズを中心とした中山間振興

地域:室戸市、安芸市、奈半利町、田野町、安田町、北川村、馬路村  
実施主体:JA高知県(安芸地区)、JA馬路村


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産拡大と果実の品質向上のための新植・改植の推進</li> <li>EU向け青果輸出の継続</li> <li>ハットボトル充填ライン等の整備 ㊟</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>総出荷受入量 ㊟:4,938t → ㊠:5,262t</li> <li>青果輸出量 ㊟:2.8t → ㊠:4.2t</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>生産拡大、品質向上に向けた新植、改植の推進</li> <li>ユズ果汁等の安定供給と積極的な販路開拓</li> <li>インターネット等を活用した新規顧客の獲得</li> </ul>



### No.15 完全天日塩を活用した産業振興及び観光への活用

地域:田野町  
実施主体:田野町、民間事業者


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修施設の整備 ㊟</li> <li>製塩体験を通じた交流人口の拡大</li> <li>新規就業者の育成</li> <li>生産用レンタルハウスの整備 (R元)</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>製塩体験受入回数 ㊟:24回 → ㊠:28回</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>体験メニューづくりや町内外へのPRの強化</li> <li>研修生の自立支援</li> </ul>



### No.20 室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興

地域:室戸市  
実施主体:室戸市、室戸ジオパーク推進協議会、室戸市観光協会 等


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>室戸世界ジオパークセンターの整備拡充 ㊟㊠</li> <li>むろと廃校水族館のオープン ㊟</li> <li>誘客に向けたイベント・企画展などの実施</li> <li>ガイド内容の磨き上げ</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>室戸世界ジオパークセンター来館者数 ㊟:76,629人 → ㊠:87,318人 → ㊡:68,782人</li> <li>むろと廃校水族館来館者数 ㊟:168,333人 → ㊠:150,210人</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>各施設による取り組みのブラッシュアップ</li> <li>滞在型観光への転換に向けた施設間の連携強化</li> </ul>



### No.10 キラメッセ室戸「楽市」を核とした地産地消・外商の拡大

地域:室戸市  
実施主体:室戸市、協同キラメッセ室戸(有)


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工施設を活用した加工品の開発・販売</li> <li>庭先集荷の開始 ㊟</li> <li>内装の改修 (R元)</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高 ㊟:308,334千円 → ㊠:348,626千円</li> <li>来場者数 ㊟:230,887人 → ㊠:232,296人</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工品の開発・販売の強化</li> <li>庭先集荷の強化</li> <li>農産物の生産拡大に向けた取り組みの強化</li> </ul>



### No.16 道の駅「田野駅」の機能強化に向けた取り組み

地域:田野町  
実施主体:田野町、道の駅指定管理者、加工施設指定管理者 等


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工品の開発や販売強化</li> <li>観光情報の発信</li> <li>トイレの洋式化及びWiFiの整備 ㊟</li> <li>町100%出資の第3セクターによる運営の開始 (R元)</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>年間売上高 ㊟:258,729千円 → ㊠:329,690千円</li> <li>年間入込数 ㊟:221千人 → ㊠:280千人</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の拡張など機能強化の検討</li> <li>加工品の開発及び磨き上げ</li> </ul>



### No.21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進

地域:安芸市  
実施主体:安芸市、安芸市観光協会、伊尾木あなご保存会 等


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>「志国高知 幕末維新博」等の取り組みと連動した観光誘客</li> <li>伊尾木洞への観光案内所等の整備 ㊟</li> <li>安芸観光情報センターのリニューアル (R元)</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>市内年間観光客数 ㊟:196,895人 → ㊠:254,496人</li> <li>伊尾木洞ガイド利用者数 ㊟:2,005人 → ㊠:2,969人</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>三菱創業150周年を契機とする観光誘客</li> <li>観光客の市内滞在時間の延長及び消費額の拡大</li> <li>市内観光周遊プラン、体験観光の充実</li> </ul>



### No.12 海の駅東洋町を拠点とした地域振興

地域:東洋町  
実施主体:東洋町、東洋町観光振興協会


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>売場レイアウトの見直し(随時)</li> <li>商品ラインナップの充実</li> <li>集客増に向けた町外イベントへの出店やイベントの誘致</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>売上高 ㊟:141,938千円 → ㊠:168,071千円</li> <li>来場者数 ㊟:157,790人 → ㊠:175,666人</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>店舗の狭隘対策の推進</li> <li>地域特産品を活用した加工品開発の強化</li> <li>イベント誘致の推進</li> </ul>



### No.18 安芸地域の観光振興の推進

地域:安芸地域全域  
実施主体:(一社)高知県東部観光協議会、安芸広域市町村圏事務組合、市町村 等


取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>安芸地域観光の広報・PR活動</li> <li>旅行商品の造成・磨き上げ</li> <li>旅行会社へのセールス活動の展開</li> <li>教育旅行等の受入体制の強化</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>圏内主要施設訪問者数(圏内観光施設、体験プログラム、直販施設及びイベント集客数) ㊟:2,401,821人 → ㊠:2,495,024人</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>セールス・プロモーションの強化</li> <li>観光商品の造成・磨き上げの強化</li> <li>組織体制の強化及び関係団体との連携推進</li> </ul>



### No.31 集落活動センター「げいせい」を拠点とした「小さくてもっと元気で輝むら」づくり

地域:芸西村  
実施主体:芸西村、芸西村集落活動センター推進協議会

取り組みの内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>サトウキビ栽培を開始 ㊟</li> <li>琴ヶ浜かつば市での加工品販売開始 (R元)</li> <li>加工場の整備 (R元)</li> </ul>
主な成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>サトウキビ収穫量 ㊟:0t → ㊠:2.8t</li> <li>加工品開発件数 ㊟:0件 → ㊠:10件</li> </ul>
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> <li>加工品の開発・磨き上げ</li> <li>新たな販路の開拓と生産の拡大</li> <li>経済活動のさらなる拡大による集落活動センターの自主的な運営</li> </ul>



## 第3期計画で設定した数値目標に対する評価

数値目標の達成状況について、以下により4段階評価を実施  
 ※1つの地域アクションプランで複数の数値目標を設定したものもあるため、  
 下記の件数と地域アクションプランの数とは一致しない

区分	数値目標に対する評価基準		件数	構成比
<b>A+</b>	第3期計画の 取り組み開始	・目標を達成したもの → 目標の達成率（または達成見込率） が100%以上	18件	28.6%
<b>A</b>	時と比べて、 数値を改善	・目標をほぼ達成したもの → 達成率（または達成見込率）が 60%以上100%未満	12件	19.0%
<b>A-</b>	もしくは維持で きたもの	・目標の達成に向けて十分な進展が見られな かったもの → 達成率（または達成見込率）が 60%未満	19件	30.2%
<b>B</b>	第3期計画の取り組み開始時と比べて、数値を改善もしくは維持 できなかったもの		14件	22.2%
<b>評価計</b>			63件	100%
—	実績値がまだ出ていないなどの理由で現時点の評価ができないもの、 または目標の設定がないもの		1件	

### 主な支援策の活用状況 (①②④:H28~H30 ③:H28~H29)

① 産業振興推進総合支援事業費補助金	6事業	92,241千円
② 観光拠点等整備事業費補助金	24事業	444,013千円
③ 歴史観光資源等強化事業費補助金	10事業	272,486千円
④ 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業）	18件 39回	



○ボン酢等ペットボトル充填ライン  
 H29.11月稼働開始  
 地域AP No.1  
 H29年度産振補助金



○製塩研修施設  
 H30.5月オープン  
 地域AP No.15  
 H29年度産振補助金



○むろと廃校水族館  
 H30.4月オープン  
 地域AP No.20  
 H29年度観光補助金

## 課題の克服やさらなる成果の拡大に取り組む主な重点項目

項目	見えてきた課題・方向性	さらなる挑戦
<b>No.19 日本遺産を活用した中芸地域の活性化</b>	日本遺産の認定後、文化庁の補助金を活用して、ゆずFeS等の事業を展開してきたが、大幅な集客増には至っていない。 文化庁の補助事業が終了したR2以降、日本遺産を活用した地域の活性化に向けて、活動の方向性を見据え、改めて戦略を策定するとともに、日本遺産協議会を軸に中芸5町村や関係機関が一体となって取り組む必要がある。	◎中芸地域が一体となり、日本遺産を活用した地域の活性化を推進する。 ・今後の自走に向けた戦略を策定するとともに拠点施設整備の方向性について検討 ・協議会体制を見直し、関係者間の情報共有を図るとともに円滑な事業実施体制を構築 ・(一社)高知県東部観光協議会等と連携した旅行商品の造成及び売り込みの強化
<b>No.20 室戸市の観光資源を活かした交流人口の拡大・地域振興</b>	室戸世界ジオパークセンターのリニューアル(H29)やむろと廃校水族館のオープン(H30)等の効果もあり、周辺主要施設の訪問者数が増加している。また、宿泊拠点施設として、R2.2月にはライダーズインもリニューアル(MUROTObase55)された。 この好機を生かして、室戸市内への誘客をさらに促進し、経済波及効果を一層高めるためには、通過型観光から滞在型観光に転換させる必要がある。	◎関係事業者が連携し、滞在型観光への転換を推進する。 ・ジオパークや室戸ドルフィンセンター、むろと廃校水族館、ライダーズインなどの各観光施設が自らの事業をブラッシュアップ ・リニューアルされたライダーズインなど宿泊施設と各観光施設や飲食店等が連携した旅行商品の造成ならびに売り込みを推進
<b>No.21 岩崎弥太郎や地域食材等を活用した観光の推進</b>	「志国高知 幕末維新博」や「自然&体験 キャンペーン」等と運動した取り組みや、伊尾木洞、内原野陶芸館など観光資源の磨き上げにより市内年間観光客数の増加に繋がっている。また、R元年度末には観光情報センターがリニューアルオープンし、新たな人の流れの創造が期待できる。一方、観光客の消費を促す仕組みが弱く、観光客の市内周遊による滞在時間の延長や、地域産品を活用した土産物開発等が必要である。 ナスの地域産業クラスターの取り組みでは、市内飲食店でのナス料理の提供や加工品の開発・販売などナスの消費拡大が課題であり、認知度向上の取り組みや開発済みの加工品の商品化、ナスの機能性を消費拡大のPRに活かしていく必要がある。	◎岩崎家とのつながりをクローズアップした観光誘客の促進及び体験メニューの磨き上げ等による市内滞在時間の延長 ・三菱グループ創業150周年の記念事業である岩崎弥太郎マンガの作成や各種イベントの実施など岩崎家ゆかりの地の強みを生かした観光誘客 ・伊尾木洞や内原野陶芸館などの既存体験プログラムの磨き上げや新たな体験プログラムの造成による、観光客の市内滞在時間の延長及び地域産品の消費拡大 ◎ナスの消費拡大、加工商品の開発・販売 ・市内飲食店等でのナスを使ったメニュー提供やナス料理レシピ動画の制作及びHPや動画サイトへの掲載による認知度向上 ・ナスの機能性（血圧低下、抗ストレス）表示を活用した効果的なPRによる、青果及び加工品の販売拡大
<b>No.22 東洋町における体験型観光の推進</b>	海上アスレチックを活用した新たな体験プログラムが始まるとともに、観光振興協会には新たに専任スタッフが配置される等、観光客の受入態勢が強化された。 こうした取り組みを土台として、さらなる観光客の受入拡大につなげるためには、マリレジャーのみならず「山」や「川」など東洋町の魅力を生かした新たな体験プログラムの造成のほか、情報発信の強化が必要である。	◎「海」「山」「川」を生かした体験プログラムの造成とプログラム間の連携を強化する。 ・海上アスレチック等の新たな体験プログラムの造成や既存プログラムの磨き上げ ・「海」「山」「川」の体験プログラムを組み合わせたツアーの造成 ・R2に運行が開始される予定のDMV（Dual Mode Vehicle）の活用策の検討 ・SNSの活用や関西圏のイベントへの出展等による積極的な情報発信
<b>No.24 安田川アオどる清流キャンプ場の再整備による交流人口の拡大と地域の活性化</b>	現在の顧客ニーズに沿ったキャンプ場へと改修するため、H30に基本計画を策定し、R元には設計も完了した。今後は、イベント開催の準備や体験プログラムの開発、地域食材の提供にかかる協議等を行う予定である。多くの人を呼び込むためにはキャンプ場の改修だけでなく、集客力アップに向けたソフト面での各種の取り組みを加速させ、人を引きつける魅力あるキャンプ場へと磨き上げを行う必要がある。	◎多くの人が集まる魅力的なキャンプ場とするための磨き上げを行う。 ・専門家のノウハウを活かしたスタッフ教育の実施や管理運営手法の習得 ・大手アウトドアメーカーの協力によるサービスの提供 ・独自のHP立ち上げ等による情報発信の強化 ・季節毎のイベントや体験プログラムの定番化 ・周辺のアウトドア施設等とコラボしたキャンプツアーや地域食材を活用したセット食材の販売の拡充